

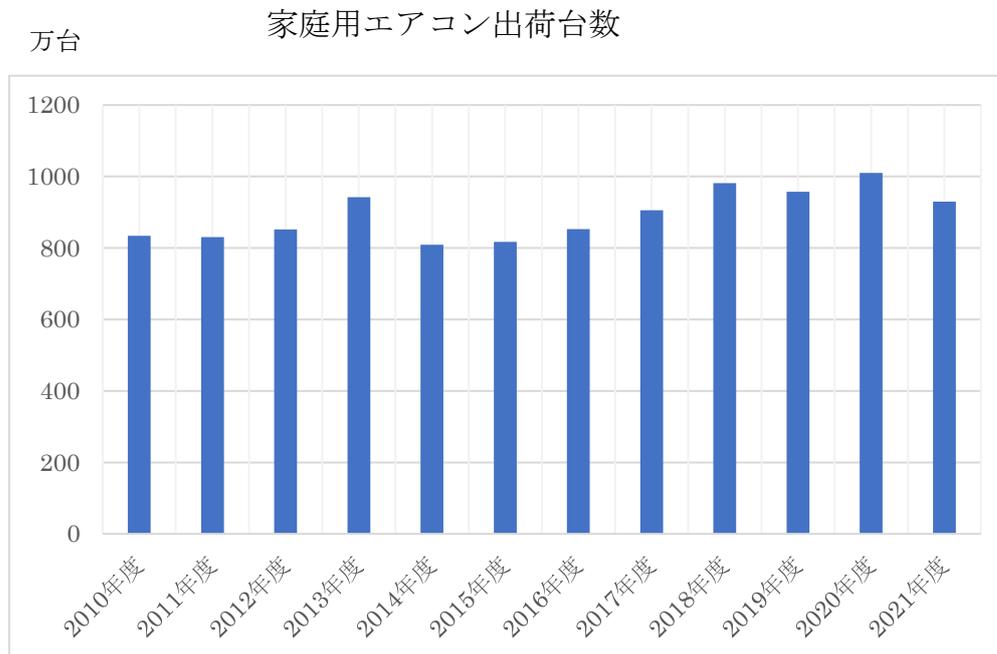
エアコンの2021年度（令和3年度）の出荷台数

「環境エネルギーネットワーク21」主任研究員 岸本哲郎

一般社団法人 日本冷凍空調工業会から2021年度のエアコンの国内出荷台数が公表されています。

家庭用エアコンの国内出荷台数は2000年代の初めは700万台前後で推移していましたが、2010年ごろからは800万台を超える水準で推移、特に2020年度は初の1000万台を超える過去最高の出荷台数になっています。この2020年度の記録はコロナの影響で在宅勤務が増えたこと、政府の給付金の支給などが後押ししていると思われます。

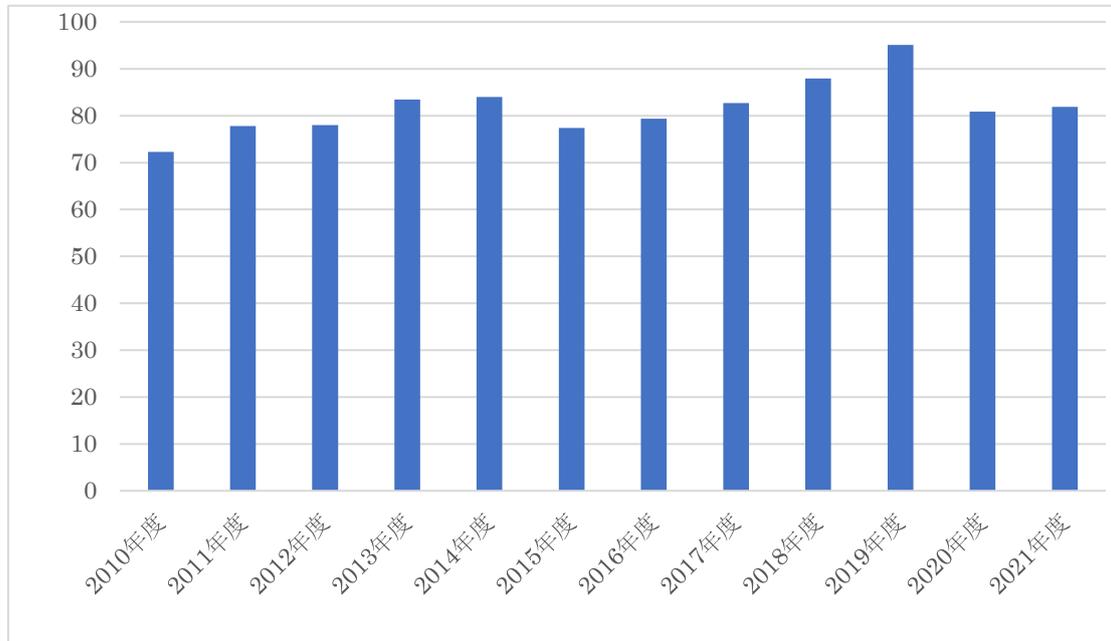
2021年度はその反動もあって前年比を下まわりましたが、空調業界としては一段と大きな安定した市場規模に成長しています。



一方業務用のパッケージエアコンは飲食店等の時短営業や休業などが影響し大きく落ち込みました。今年度はコロナの感染拡大も治まり経済活動が活発になれば需要の拡大が見込まれます。

業務用パッケージエアコンの出荷台数

万台



現在エネルギー価格の高騰やコロナの影響、ウクライナの戦争の影響などで世界的に経済の低迷が続いていますが、冷凍空調機器は快適な住環境の要求や食料の流通保存など今後も途上国の経済成長や都市部の気温の上昇等の影響もあり、引き続き大きな成長が見込まれます。しかしエネルギー価格の高騰などにより電力エネルギーの供給の課題が大きく顕在化してくると思われまますので、インバータなどの省エネ技術がますます重要になってくると予想されます。